

本市の病床使用率の推移

令和4年7月20日現在

—病床使用率—重症病床使用率

7/20 病床使用率 42.1%

7/20 重症病床使用率 0.0%



効果的な換気に関する6つのポイント①



効果的な換気に関する6つのポイント②

空気の流れを作りましょう!

POINT 01 空気の入口と出口を意識して**2方向で換気**をしましょう。

空気の通り道を作るよう、風向きを意識しながら2方向で換気しましょう。

MEMO

- サーキュレータで風の補助をすることも効果的です。
- 施設の立地によって、季節等で風量・風向きが変わります。窓にテープを吊り下げることで風向きを確認できます。

風向きを確認

POINT 02 窓を10cm開けての**常時換気**も有効です。

施設の状況に合わせて、換気方法を使い分けましょう。

5分/30分等 全開

同等の効果あり

常時換気の方が室温の変化を抑えられるよ!

常時 10cm

時間: 30分毎に1回5分程度 窓: 全開

時間: 常時 窓: 10cm程度開放

POINT 03 窓を開けられないときは**HEPAフィルタ付きの空気清浄機**を活用しましょう。

扉を開放できるのであれば、開放しましょう。フィルタにはいくつか種類があります。HEPAフィルタは0.3 μ m程の小さい粒子を捕らえることができ、ウイルス除去に有効です。

MEMO

- 空気清浄機は、風量が毎分5m³程度以上のものを使用しましょう。
- 給排気口のスイッチを入れましょう。
- 給排気扇による24時間換気が義務付けられている施設では、スイッチが入っていることを確認しましょう。

※1 μ mは1mmの1000分の1。

換気を行うときに気を付けたいこと

POINT 04 **空気清浄機の置き方**を意識しましょう。

空気清浄機は、滞留した空気を清浄・循環させるために使います。

窓(空気の入口)

給排気口

離す

風向きと方向を合わせる

MEMO

- 空気よどみを生じさせないように、風向きと空気清浄機の風向きを同じ方向にしましょう。
- 給排気口から離れた部分に設置すると、効果的です。
- 10m²(6畳程度)につき1台を設置の目安としましょう。

POINT 05 **二酸化炭素濃度**を測定しましょう。

正しく換気できているかどうかを確認するため、二酸化炭素濃度測定器を設置しましょう。

二酸化炭素濃度が1,000ppm以下だとうまく換気できているよ!

二酸化炭素濃度測定器

CO2測定中

50cm以上

換気口

窓

ドア

離す

MEMO

- 窓、ドア、換気口から離れた場所で、人から少なくとも50cm離れたところに二酸化炭素濃度測定器を設置しましょう。

利用者

POINT 06 利用者の**体調変化**に気を付けましょう。

直接風が当たると利用者は体感温度が変化し、不快に感じる場合があります。

夏 気温が上がるとき **冷房**

- 換気を行いながら、エアコンで室温を調整しましょう。
- エアコンの風が直接当たると、利用者の体感温度も下がります。エアコンの風向きの角度を変える等工夫しましょう。

風向き

冬 気温が下がるとき **暖房**

- 開けている窓の近くに暖房器具を設置しましょう。
- 直接風の当たらない位置に利用者を移動させましょう。サーキュレータを活用し、気流の方向を変えましょう。

サーキュレータ

利用者

3回目接種の状況

令和4年7月17日時点

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%

3回接種
終了

579,000人

78.2%

○年代別の接種状況（3回目）

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%

65歳以上

93.6%

60～64歳

91.2%

50～59歳

82.9%

40～49歳

70.5%

30～39歳

61.8%

20～29歳

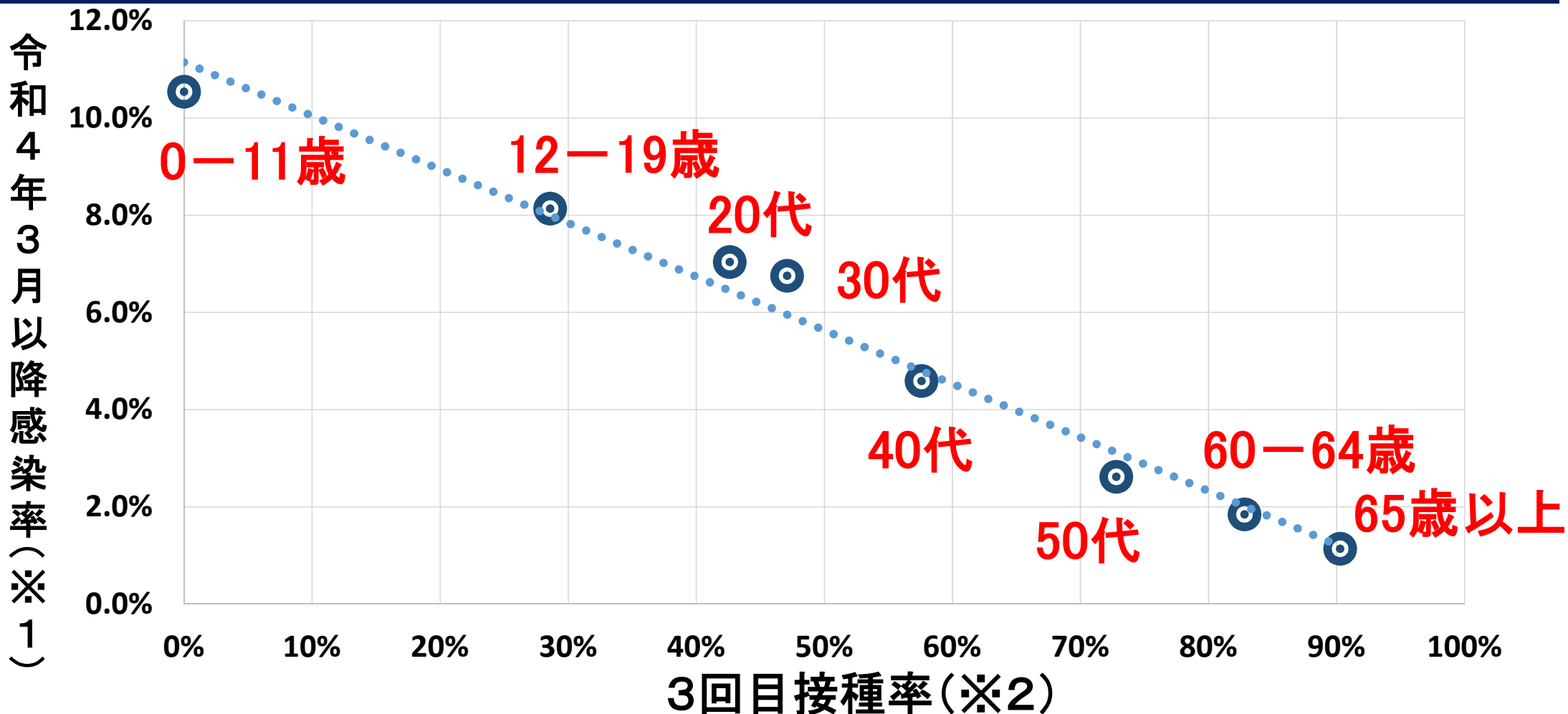
55.5%

12～19歳

41.5%

2回接種終了者に占める割合

年代ごとの感染率と3回目接種の関係



※1 令和4年3月1日～令和4年7月12日の各年代の感染者数を各年代の人口で除した数値

※2 令和4年6月30日時点の各年代のワクチン接種率(全人口に対する接種率) ※3 人口は令和3年3月31日住民基本台帳を集計した数値